

会計名			刈谷の魅力発信事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
2	1	2						観光係	
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用						
		目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を市内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。		主たる内容	○歴史文化PRブースの出展 市内外のイベント等で刈谷の歴史文化を紹介するPRブースを出展する。 ○刈谷城盛上げ隊の運営 市内外のイベント等へ参加出演する刈谷城盛上げ隊を運営する。 ○東吉野村交流事業 刈谷市民と東吉野村民が天誅組に関する史跡等を相互に訪問する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画中間改訂版、第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	～		
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画		
			・PRブース出展 ブース出展回数 中止 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 11回 市内外催事出演 17回 ・東吉野村交流事業 中止		・水野家ゆかりのまち交流 ブース出展 4回 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内外催事出演 23回 ・パンフレット作成 ・啓発被服作成 法被10枚ほか ・東吉野村交流事業 東吉野村訪問 24人		・水野家ゆかりのまち交流 ブース出展 3回 ・あいち戦国絵巻 in 江戸 ブース出展 1回 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内外催事出演 23回 ・東吉野村交流事業 刈谷市来訪 19人		・水野家ゆかりのまち交流 ブース出展 3回 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内外催事出演 23回 ・東吉野村交流事業 東吉野村訪問 28人
成果			ゆかりの市町や他市でのイベントにおいて、刈谷市のブースを出展し、魅力をPRできた。 市内外のイベント等において、刈谷城盛上げ隊の出演により刈谷市の魅力をPRできた。 刈谷城盛上げ隊を運営することで歴史文化の啓発に努めた。また、活動拠点を歴史博物館とし歴史文化の啓発の一翼を担えた。						
課題			現在の刈谷城盛上げ隊の運用方策が、他に類似事例が無いため、費用検証が難しい。						
指標名称（単位）			実績値		目標値				
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		PRブース出展、刈谷城盛上げ隊出演回数（回）		28	39	39	38	38	
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		—	30.4	—	32.2	34.0	
他市との比較検証		本市の魅力に合わせた独自の取り組みであるため、他市と比較できない。							
		単位：千円	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
C事業コスト	事業費 ①		5,055	10,205	6,073	7,252	合計 6,072,847 円		
	財源	特定財源	0	2	0	3	旅費 792,760 円		
		一般財源	5,055	10,203	6,073	7,249	需用費 32,821 円		
	職員人件費 ②		3,483	3,840	3,836	3,877	役務費 247,326 円		
	総事業費（①＋②）		8,538	14,045	9,909	11,129	委託料 4,999,940 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0					
7年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷の魅力発信事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	文化観光課	
款	項	目		担当係	文化振興係	
2	1	2			観光係	
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史文化に誇りを持ってもらい、地域の活性化を図る一助とする。 また、盛上げ隊を活用して地域資源のPRを推進することで、武将観光を推進する県と一体的に事業に取り組んでいる。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	盛上げ隊については事業を委託することで職員の負担・コストを節減しつつ、効果を高めることができた。また、隊員にボランティアを採用することでコストを抑えつつ、幅広い人材を確保することができた。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	事業を通じて、総合計画にある「歴史・文化資源をいかしたにぎわいづくり」に応えることができる。 また、歴史文化を軸とした他市町との多面的な交流促進の観点からも、市が主体的に実施するべきである。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	イベントにおいて、市職員が直接刈谷市についてのPRを行うとともに、甲冑を着用した存在感の強い武将隊が演武等を披露しながら刈谷の魅力を発信できるので、訴求力などが高く、施策への貢献度は高い。	
			今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止	
歴史文化的な刈谷の魅力を発信するため、継続して事業を行う。						

会計名 一般会計			水野家ゆかりのまち交流宣言10周年記念				担当部 市民活動部			
款 項 目			事業				担当課 文化観光課			
2 1 2							担当係 文化振興係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用							
	目的	水野家ゆかりのまち交流宣言10周年及び大河ドラマ「どうする家康」の放送を、水野家ゆかりの地としての歴史に興味を持ってもらう好機と捉え、市民等へ広く知らせ、刈谷市に対する誇りや愛着を醸成する。				主たる内容	○大河ドラマ「どうする家康」スペシャルトーク in 刈谷の開催 ○水野家ゆかりのまち交流宣言10周年記念式典及び講演会の開催、関連イベントの開催			
		位置づけ								
		関連計画								
		根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和5年度 ～ 令和5年度			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
				・大河ドラマ「どうする家康」スペシャルトーク in 刈谷 5月21日 ・水野家ゆかりのまち交流宣言10周年記念事業 記念式典、講演会 10月22日 関連イベント 10月21日～29日						
成果		大河ドラマ「どうする家康」スペシャルトーク in 刈谷及び水野家ゆかりのまち交流宣言10周年記念事業を実施したことで、水野家ゆかりの地としての歴史を市民等へ広く知ってもらうことができた。								
課題		今後も、何年周期で水野家ゆかりのまち交流宣言記念事業を継続していくかが課題である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		大河ドラマ「どうする家康」スペシャルトーク in 刈谷 入場者数（人）				—	—	1,300	—	—
活動指標		水野家ゆかりのまち交流宣言10周年記念式典・講演会 入場者数（人）				—	—	1,155	—	—
他市との比較検証		本市の魅力に合わせた独自の取り組みであるため、他市と比較できない。								
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	12,186	0	合計 12,185,848 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 790,698 円			
		一般財源	0	0	12,186	0	需用費 152,830 円			
	職員人件費 ②		0	0	3,184	0	役務費 513,562 円			
	総事業費（①+②）		0	0	15,370	0	委託料 10,250,568 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称		使用料及び賃借料 478,190 円			
		5年度までの累積事業費		0						
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			水野家ゆかりのまち交流宣言 10周年記念事業			担当部	市民活動部
一般会計						担当課	文化観光課
款	項	目				担当係	文化振興係
2	1	2					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	事業の実施を通じて、水野家ゆかり地としての歴史を共通の財産として次世代へ継承する。自治体間の交流を深め文化振興等を促進する。水野家の歴史をはじめ、各々の自治体の歴史と文化を大切にしたまちづくりを進め、互いに水野家ゆかりのまちの魅力を高める。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	縁の絆を活かした交流により、水野家を中心とした各々の自治体の歴史文化に興味と誇りを持ってもらい、地域の活性化を図る一助とすることができる。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	事業の実施を通じて、総合計画にある「歴史文化の普及・啓発・活用」を進めることができる。また、水野家を中心とした各自治体との多面的な交流促進の観点から、市が中心となり主体的に実施すべきである。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	事業の実施により、市民等に水野家ゆかりの地の歴史を知ってもらうことを通して、誇りや愛着を感じてもらうことができることから、施策への貢献度は高い。		
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☒ 休止・廃止				
	記念事業であることから、単年度で廃止とする。						

会計名			観光協会補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	観光交流の推進							
	目的	民間団体が実施する観光振興のための活動を支援することで、市民サービスの向上及び市の活性化を図る。				主たる内容	○刈谷市観光協会が行う観光事業等に要する経費の補助			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画、刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略							
		根拠法令								
		対象者	刈谷市観光協会			事業期間	平成10年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
	・主催、共催等事業 刈谷駅イルミネーション ※桜まつり他6催事は中止 ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、大名行列・山車祭、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、刈谷駅周辺かりやストリートイルミネーション ・観光案内所運営			
	成果	補助金を交付することによって、観光協会が行う刈谷の魅力向上や情報の発信に寄与した。								
	課題	市と観光協会の役割分担を明確化する必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	成果指標	主催・共催事業来場者数等（人）				22,000	155,000	298,000	300,000	480,000
	指標									
	他市との比較検証	観光協会が主催・共催する催事数が多く、また、催事規模も大きいことから、近隣市町と比較して補助金額が突出して高くなっている。【参考】安城市：15,400千円、碧南市：600千円、東浦町：2,400千円								
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
事業費 ①		20,274	111,342	125,252	124,224	合計 125,252,000 円				
財源		特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 125,252,000 円			
		一般財源	20,274	111,342	125,252	124,224				
職員人件費 ②		2,423	2,409	2,317	2,342					
総事業費（①+②）		22,697	113,751	127,569	126,566					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0						
	7年度以降の事業費見込		0							

会計名			観光協会補助事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	文化観光課	
款	項	目		担当係	観光係	
7	1	2				
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由		
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		普通	本市の観光振興を図るためには、市内業者や団体と連携を密にして推進する必要がある。観光協会は市内主要業者等で構成されており、その目的も総合的な観光振興によるまちづくりへの寄与とあるため、公益性も高いと判断していることから本事業は必要である。	
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	観光事業は時代潮流に合わせた対応が求められる分野であるため、行政が実施するよりも効率的な対応が可能となっている。また、観光協会は様々な団体から構成されているため、各種団体との連携が必要な場合に協力等が得られやすい。	
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	当該団体の補助対象事業は、一定の公平性及び公益性が担保されていることから、その事業に対する補助金の交付は適正と考えている。また、総合計画及び観光推進基本計画にも当該団体との連携が示されていることから妥当性は高いと判断している。	
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	総合計画及び観光推進基本計画に観光協会との連携は明記されている。また、当該団体の補助対象事業は、本市が目指す観光交流に寄与している現状からも施策への貢献度は高い。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	市と観光協会の役割が明文化されていないことから、今後は、それぞれの役割の明確化のため、国や県、他市町の事例等を参考に調査研究するとともに、適宜、市の観光振興との整合性を考慮しつつ補助対象事業の内容検証に努める必要がある。					

会計名			歴史文化観光行事等開催補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	観光交流の推進							
	目的	各種保存団体が開催する歴史文化行事に対して補助することで、伝統文化の保存、継承及び観光の振興による地域活性化を図る。				主たる内容	○各種保存団体が主催する行事に要する経費の補助			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画							
		根拠法令								
	対象者	各保存会			事業期間	～				
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
	・大名行列・山車祭 中止 ・万燈祭（規模縮小） 開催日 9月18日・19日 ・野田雨乞笠おどり 中止		・大名行列・山車祭 中止 ・万燈祭（規模縮小） 開催日 7月30日・31日 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月28日		・大名行列・山車祭 開催日 5月5日 来場者数 33,000人 ・万燈祭 開催日 7月29日・30日 来場者数 77,000人 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月27日 来場者数 600人		・万燈祭 開催予定日7月27日・28日 ・野田雨乞笠おどり 開催予定日 8月25日			
	成果	(万燈祭) 補助金を交付することで、文化の保存継承と観光客の来場による賑わいの創出に寄与した。 (野田雨乞笠おどり) 大会開催にかかる経費の一部を補助することで伝統文化の保存継承に寄与した。								
	課題	(共通) 後継者育成など団体の自立を促すことで協賛金の確保などの自主財源を確保し、各催事等の運営が可能となるよう指導していく必要がある。 行事として開催するのみで、観光資源として活用しきれていない。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	成果指標	刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）				—	30.4	—	32.2	34.0
	活動指標									
	他市との比較検証	近隣市における同様の祭事支援額としては、突出して高い。【参考】豊田市：裸まつり200千円、西尾市：三河一色大提灯まつり1,700千円、鳥羽の火祭り550千円								
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
事業費 ①		2,377	4,399	10,159	5,262	合計 10,159,300 円				
財源		特定財源	300	300	300	300	負担金、補助及び交付金 10,159,300 円			
		一般財源	2,077	4,099	9,859	4,962				
職員人件費 ②		530	527	537	737					
総事業費（①＋②）		2,907	4,926	10,696	5,999					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		地域創造助成金				
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			歴史文化観光行事等開催補助事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	文化観光課	
款	項	目		担当係	観光係	
7	1	2				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	担い手や支援者の減少により、祭りが衰退傾向にあるため、祭り開催を支援することは、伝統文化の保存継承と後継者育成といった面で必要性が高い。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	本事業の目的達成のための支援規模が適正であるか、各保存会の補助金の支出内容を精査する必要がある。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	市及び県の無形民俗文化財に指定されている祭りの保存継承のための補助は必要である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	大名行列・山車祭及び万燈祭、野田雨乞笠おどりは刈谷市の伝統的な祭りであり、当該祭りの開催支援は、総合計画等にも示されている。また、祭りが継続することで、歴史的資源として活用できる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	今後は、協賛金などの自主財源のさらなる確保による資金面での自立を促すなど、各保存会の育成に努める必要がある。					

会計名			文化芸術団体育成事業				担当部		市民活動部		
一般会計							担当課		文化観光課		
款	項	目					担当係		文化振興係		
10	5	1									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化・観光交流								
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり								
	目的	様々な文化創造活動を行う刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援し、文化創造活動の活性化を図る。				主たる内容	○刈谷文化協会の事業及び運営に対する補助 ○刈谷音楽協会の事業に対する補助				
		位置づけ									
		関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画中間改定版								
		根拠法令	刈谷市補助金等交付規則、刈谷文化協会育成事業補助金交付基準、音楽振興活動補助金交付要領								
	対象者	刈谷文化協会、刈谷音楽協会				事業期間	平成30年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
・文化芸術活動支援金の交付200,000円×2団体 ・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助					
成果		刈谷文化協会への団体補助と刈谷音楽協会実施事業に対する補助により、文化芸術活動への支援を行った。 刈谷文化協会が主催する市民文化祭を支援したことにより、多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。									
課題		高齢化に伴う会員数の減少が顕著な団体もあり、新規会員の確保が課題である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
成果指標		刈谷文化協会及び刈谷音楽協会のイベントの参加者数等（人）			5,363	7,287	7,639	7,700	7,800		
指標											
他市との比較検証		文化協会について、刈谷市は195万円を補助。近隣市では碧南市：175万5千円、安城市：170万円、知立市：335万円を補助している。 また音楽協会について、岡崎市では音楽団体への補助は文化協会の補助金に含まれており、市は文化協会へ対象経費の1/2以内（上限180万円）を補助している。									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費①		3,150	2,660	2,750	2,750	合計 2,750,000 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 2,750,000 円				
		一般財源	3,150	2,660	2,750	2,750					
	職員人件費②		1,514	1,506	1,535	1,551					
	総事業費（①＋②）		4,664	4,166	4,285	4,301					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0							
7年度以降の事業費見込		0									

会計名			文化芸術団体育成事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		普通	様々な文化創造活動を行う刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	刈谷文化協会は、文化振興指導員が事務局を務めており、事業運営や経理など適正に行われている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	市民が文化芸術に触れる機会を提供する刈谷文化協会及び刈谷音楽協会を支援することは妥当である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	市民が文化芸術に触れる機会を提供することで、本市の文化振興に寄与することができた。
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要であるため、引き続き支援を継続する。				

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	2						歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化財の保護・伝承						
	目的	国指定天然記念物である小堤西池のカキツバタ群落の保護増殖を図るため、調査を含めた各種保護対策を実施し、植生を適切な状態に保つ。				主たる内容	○保存対策調査委員会による植生調査・遺伝子調査・保護対策 ○調査委員会の指導に基づく小堤西池の水質水位の継続調査 ○カキツバタ保護増殖のための池や東側丘陵地の除草や清掃等 ○カキツバタ開花時期における警備や駐車場案内等		
		位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存活用計画、第2次刈谷市文化振興基本計画中間改定版					
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	・保存対策調査委員会の開催 2回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採						
			4年度実績	・保存対策調査委員会の開催 2回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採 ・カキツバタ遺伝子調査					
5年度実績				・保存対策調査委員会の開催 2回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採 ・調査報告書の刊行 ・池周辺看板設置 2基					
				6年度計画 ・保存対策調査委員会の開催 3回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採					
成果		除草作業には地元「小堤西池のカキツバタを守る会」のほか、企業ボランティアをはじめ多くのボランティアの参加があり、実施できた。 小堤西池カキツバタ群落保存対策調査委員会の委員が増加したことで調査内容が充実し、調査報告書にも新規内容の記載が増えた。							
課題		雨水量減少及び池の湧水量減少の影響を受け、時期によっては水量が少ない時がある。 外来種などの影響により、池及び東側丘陵地の環境が変化しつつあり、動植物の種類が減少しつつある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
		活動指標	ボランティア参加数（人）		90	226	297	300	320
		成果指標	見学者数（人）		7,667	8,570	5,828	8,500	9,000
他市との比較検証	知立市「八橋かきつばた園」来場者数 55,000人（4～5月） H29年度に育成不良に陥っていたカキツバタは8割ほどまでに回復してきた。								
C 事業コスト	単位：千円	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①	7,983	7,781	9,045	8,887	合計	9,045,050 円		
	財源	特定財源	0	0	0	10	報償費	524,600 円	
		一般財源	7,983	7,781	9,045	8,877	需用費	389,508 円	
	職員人件費 ②	3,558	4,367	4,450	4,497	委託料	8,130,942 円		
	総事業費（①+②）	11,541	12,148	13,495	13,384				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費	0						
7年度以降の事業費見込		0							

会計名			国指定文化財保護増殖事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	文化観光課	
款	項	目		担当係	文化振興係	
10	5	2			歴史博物館	
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由		
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。 また、カキツバタは刈谷市の花で市民にも馴染みが深いことから、保護増殖を図る必要がある。	
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	地元有志による守る会に日常管理を委託する体制を取っており、直営で実施するよりもコストが節減でき、継続的かつ効果的な保護活動が可能である。市民協働の点からも最適な手段である。	
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	国指定の文化財であるので、国、県との調整が必要であるとともに、調査委員会、守る会との連携も必要であるため、市が主体となって実施すべき事業である。また総合計画でも、カキツバタ群落の保存を掲げており、本事業の実施は妥当である。	
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	開花時期にはメディアにも取り上げられ、市の魅力発信に繋がっている。また、地元の守る会をはじめとする市民の保護への意識も向上している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	保存対策調査委員会による調査・研究の成果をカキツバタ群落の保護対策に反映するとともに、地域住民によって組織される守る会及びボランティアと一体となって保護事業を継続する。 市内唯一の国指定天然記念物の保護・増殖を図るため、自然環境の維持保全の重要性を今後も継続して啓発する。 池の水源確保や外来種の増加に対して、保存対策調査委員会や守る会と対策を協議し、必要な調査を継続的に実施する。					

会計名			観光施設等管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	観光交流の推進							
	目的	刈谷市及び衣浦定住自立圏の活性化を目指し、各観光施設の充実を図る。				主たる内容	○オアシス館刈谷の管理経費 ○万燈蔵、観光倉庫等の管理経費			
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	平成30年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・土地借上げ料 ・火災保険料 ・電気料 ・観光案内所コムス置場原状回復修繕		・土地借上げ料 ・火災保険料 ・電気料		・土地借上げ料 ・火災保険料 ・電気料		・土地借上げ料 ・火災保険料 ・電気料		
成果		・定住自立圏担当会議でオアシス館刈谷の利用について検討を行った。								
課題		・オアシス館刈谷で実施している情報発信のための展示内容が恒常化している。 ・今後は、刈谷ハイウェイオアシス内にあるという立地上の特性を活かした展示等の方策を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標		オアシス館刈谷来場者数（人）				868,400	553,100	525,800	900,000	900,000
活動指標										
他市との比較検証		倉庫や施設の規模等が異なるため、他市と単純に比較することは難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,978	2,328	1,958	1,976	合計	1,957,823 円		
	財源	特定財源	292	298	309	308	需用費	271,938 円		
		一般財源	1,686	2,030	1,649	1,668	役務費	33,492 円		
	職員人件費 ②		333	301	307	465	委託料	19,800 円		
	総事業費（①+②）		2,311	2,629	2,265	2,441	使用料及び賃借料	1,632,593 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 光熱水費実費徴収金 鉄道高架下倉庫等賃貸料				
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			わんさか祭り花火打ち上げ事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	観光交流の推進						
	目的	わんさか祭りの魅力向上を目指すとともに観光の振興を図る。				主たる内容	〇花火の打ち上げに伴う経費		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
			わんさか祭りフィナーレ花火 開催日：8月20日 規模縮小（打上げ時間10分間）		わんさか祭り花火大会 開催日：8月19日		わんさか祭り花火大会 開催日：8月17日		
	成果	・新型コロナウイルス感染拡大前とほぼ同じ規模での打上げとなった。 ・花火を打ち上げることで、市内で開催されるイベントの中で最も集客力を持つイベントとなり、市外からも多くの人が集まる知名度が高い催事となっている。							
	課題	・会場内外での花火観覧場所の確保や会場周辺での交通渋滞、迷惑駐車が課題となっている。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
	活動指標	わんさか祭り来場者数（人）			—	52,000	105,000	152,000	155,000
	活動指標								
	他市との比較検証	近隣では、岡崎市、豊田市、碧南市（半田市及び武豊町と共催）、西尾市、みよし市等で花火大会を実施している。							
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
事業費 ①		0	4,800	9,800	10,000	合計	9,799,750 円		
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料	9,799,750 円	
		一般財源	0	4,800	9,800	10,000			
職員人件費 ②		0	2,274	2,317	2,342				
総事業費（①＋②）		0	7,074	12,117	12,342				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0					
	7年度以降の事業費見込		0						

会計名			広域観光推進事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	観光交流の推進						
	目的	広域的な視点での観光施策の充実や地域のつながりを強め、地域活性化を目指す。				主たる内容	○衣浦定住自立圏の観光関連事業に伴う経費 ○西三河広域観光推進協議会の運営負担金		
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画					
		根拠法令	西三河広域観光推進協議会規約						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～			
	実施方法	□直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	・西三河広域観光推進協議会主催「西三河ぐるっとグルメスタンプラリー」の実施、サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・定住自立圏出展等交流事業の実施 ・第2次共生ビジョン「観光情報発信事業」のテーマ決定						
			4年度実績	・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・西三河広域観光推進協議会主催の「西三河ぐるっと歴史スタンプラリー」デジタル版の作成 ・定住自立圏「観光情報発信事業」での観光リーフレットの作成及び配布					
5年度実績				・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・西三河広域観光推進協議会主催の「西三河ぐるっと歴史スタンプラリー」の実施 ・定住自立圏出展等交流事業の実施並びに令和6年度の観光情報発信事業のテーマ決定					
		6年度計画	・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・西三河広域観光推進協議会主催の「西三河のあそびと食をまるっとスタンプラリー」デジタル版の企画・調整及び観光カードの作成 ・定住自立圏「観光情報発信事業」での観光リーフレット						
成果			・西三河広域観光推進協議会公式サイト「西三河ぐるっとナビ」で情報発信を継続したほか、西三河の歴史の魅力発信と誘客促進を目指し、歴史スポットを巡る企画として、デジタルスタンプラリーを実施し、交流人口の増加を図った。 ・定住自立圏の「観光情報発信事業」で、構成市町のおでかけスポット等を紹介し、圏域への誘客を促進するためのリーフレットについて、テーマや内容についての協議を行った。						
課題		・情報発信サイトを有効に活用し、認知度の向上及び利用促進に取り組む必要がある。 ・発信力の強化と周遊観光促進により交流人口を拡大する各取組を実施しているが、その効果の検証が不十分である。 ・合意形成に時間を要する。 ・各市町で観光に対する考え方が異なるため協議会としての方向性が定めない。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
		活動指標	西三河広域観光推進協議会公式サイト閲覧数（件）			663,481	1,202,174	1,661,621	1,700,000
指標									
他市との比較検証	近隣市町で共同で実施する事業であるため、他市と比較できない。								
C 事業コスト	単位：千円	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①	353	2,662	359	3,095	合計	359,300 円		
	財源	特定財源	0	1,242	0	1,585	負担金、補助及び交付金	359,300 円	
		一般財源	353	1,420	359	1,510			
	職員人件費 ②	1,590	1,581	1,611	1,396				
	総事業費（①+②）	1,943	4,243	1,970	4,491				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費	0		衣浦定住自立圏構成市町負担金				
7年度以降の事業費見込		0							

会計名			民俗芸能啓発事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化財の保護・伝承						
	目的	無形民俗文化財保存団体等の活動を支援し、先人がこれまで培ってきた郷土の文化財の保存・伝承を図る。				主たる内容	○無形民俗文化財の保存団体等が国民文化祭等の大会に出演する経費に対する補助		
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画中間改定版					
		根拠法令	刈谷市補助金等交付規則、刈谷市民俗芸能啓発事業補助金交付要領						
	対象者	無形民俗文化財保存団体等			事業期間	平成22年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	・各団体に芸能大会等のイベントの情報提供 ・申請の事務補助						
			4年度実績	・各団体に芸能大会等のイベントの情報提供 ・申請の事務補助					
5年度実績				・各団体に芸能大会等のイベントの情報提供 ・申請の事務補助 ・愛知県民俗芸能大会に出場（野田雨乞笠おどり保存会）					
				6年度計画					
成果		県をはじめとする補助金制度の情報提供と申請手続きの補助をすることで、本市の文化財の保存・伝承を図ることができた。							
課題		無形民俗文化財の保存団体等へ制度の周知を図っていく。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
		活動指標	出演支援回数（団体）		0	0	1	1	1
		指標							
他市との比較検証	刈谷市を除く碧海五市及び岡崎市、豊田市では、無形民俗文化財の保存団体等に対して活動経費の補助を行っており、その補助対象経費項目の中に、刈谷市民俗芸能啓発事業補助金と同様の経費が含まれている。								
C 事業コスト	単位：千円	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①	0	0	0	300	合計 0 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	300			
	職員人件費 ②		227	226	230	233			
	総事業費（①＋②）		227	226	230	533			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0					
7年度以降の事業費見込		0							

会計名			史跡管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化財の保護・伝承						
	目的	史跡を適切に管理するとともに、文化財を市内外へ向けて広報することで、文化財の保護と啓発普及を図る。				主たる内容	○史跡の維持管理及び剪定等の管理委託		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者				事業期間	令和元年度 ~			
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
	・ 椎の木屋敷跡他の樹木剪定 ・ 椎の木屋敷跡、於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理 ・ 椎の木屋敷跡の設備管理等		・ 椎の木屋敷跡他の樹木剪定 ・ 椎の木屋敷跡、於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理 ・ 椎の木屋敷跡の設備管理等 ・ 椎の木屋敷跡の地質調査		・ 椎の木屋敷跡他の樹木剪定 ・ 椎の木屋敷跡、於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理 ・ 椎の木屋敷跡の設備管理等		・ 椎の木屋敷跡他の樹木剪定 ・ 椎の木屋敷跡、於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理 ・ 椎の木屋敷跡の設備管理、修理等		
	成果	・ 市が保有する史跡を適切に管理することで、文化財の保護を図ることができた。							
	課題	・ 住宅に近接する史跡が多く、近隣住民からの苦情等があるとケースごとに対応策を検討する必要がある。							
	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	活動指標	史跡管理数（箇所）		5	5	5	5	5	
	活動指標								
	他市との比較検証		・ 史跡の保有状況は各自治体によって異なるため、比較が難しい。						
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
事業費 ①		4,615	6,173	4,697	5,574	合計	4,696,713 円		
財源		特定財源	0	10	10	19	需用費	81,035 円	
		一般財源	4,615	6,163	4,687	5,555	役務費	8,526 円	
職員人件費 ②		1,817	452	460	465	委託料	4,597,780 円		
総事業費（①+②）		6,432	6,625	5,157	6,039	使用料及び賃借料	9,372 円		
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料			
	7年度以降の事業費見込		0						

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
10	5	2						歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化財の保護・伝承							
	目的	施設来館者に依佐美送信所の歴史と展示機器の機能や構造を学ぶ機会を提供し、無線通信への親しみと理解を深め、貴重な産業遺産としての価値を後世に伝える。				主たる内容	○館内ガイド ○依佐美送信所関連資料の展示 ○ガイドボランティアへの活動支援			
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画中間改定版						
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず		事業期間		平成20年度～			
	実施方法		□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・ガイドボランティアによる館内ガイド実施日数 103日 ・館内ガイド利用者数 2,478人 ・市内中学1年生見学ガイド 中止 ・来館者数 26,147人 ・映像機器修繕		・ガイドボランティアによる館内ガイド実施日数 118日 ・館内ガイド利用者数 2,468人 ・来館者数 23,067人 ・映像機器修繕		・ガイドボランティアによる館内ガイド実施日数 125日 ・館内ガイド利用者数 3,103人 ・来館者数 24,249人		・館内ガイド利用者数 3,200人 ・来館者数 25,000人		
成果		ガイドがあることで様々な目的の来館者に対応することができ、好評価を得ている。広報媒体から取材の申し込みがあり、依佐美送信所記念館をPRすることができた。								
課題		館内ガイド以外にも、産業遺産としての情報発信方法を考える必要が生じている。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		ガイドボランティア会員数（人）			50	43	42	45	50	
成果指標		ガイド利用者数（人）			2,478	2,468	3,103	3,200	3,400	
他市との比較検証		依佐美送信所記念館と同じく産業をテーマとしている豊田市産業とくらし発見館においては、ボランティアによるガイドは実施していないため、運営手法の比較が難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,044	530	101	131	合計 100,860 円			
	財源	特定財源	0	0	0	10	役務費 860 円			
		一般財源	1,044	530	101	121	委託料 100,000 円			
	職員人件費 ②		454	452	468	465				
	総事業費（①＋②）		1,498	982	569	596				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0						
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			史跡整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
10	5	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化財の保護・伝承							
	目的	寄付者の意向を受け、加藤与五郎生家跡にて毎年11月に開催される顕彰祭をはじめ、日頃より地域で博士を偲ぶことができる場所として、より活用されることを目的に整備を行う。				主たる内容	○加藤与五郎生家跡整備工事			
		位置づけ								
		関連計画								
		根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和5年度～令和5年度			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・加藤与五郎生家跡フェンス設置工事		・石碑移設、台座、囲い及び玉石整備一式 ・照明灯設置 1灯 ・出入口石畳拡張 2ヶ所						
成果		工事施工により、史跡の機能向上を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
指標										
指標										
他市との比較検証		史跡の保有状況は各自治体によって異なるので、比較が難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	1,045	4,591	0	合計	4,591,400 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	4,591,400 円		
		一般財源	0	1,045	4,591	0				
	職員人件費 ②		0	301	230	0				
	総事業費（①＋②）		0	1,346	4,821	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0						
7年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
10	5	9								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	十朋亭を市民の憩いの場として提供できるよう管理し、施設の環境を最適に保ち、文化の向上を図る。				主たる内容	○受付等業務委託 ○施設・設備管理			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市十朋亭条例、刈谷市十朋亭条例施行規則							
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	昭和47年度～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・受付等業務委託 ・夜間受付等業務委託 ・施設保守点検業務委託 ・消防設備点検業務委託 ・污水柵清掃委託		・受付等業務委託 ・夜間受付等業務委託 ・施設保守点検業務委託 ・消防設備点検業務委託 ・污水柵清掃委託		・受付等業務委託 ・夜間受付等業務委託 ・施設保守点検業務委託 ・消防設備点検業務委託		・受付等業務委託 ・夜間受付等業務委託 ・施設保守点検業務委託 ・消防設備点検業務委託		
成果		年代を問わず、四季を通じて会合、レクリエーション、休憩等で多くの方の利用に供し、文化の向上を図ることができた。								
課題		市有財産の有効活用の観点から稼働率を上げるための施策を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		提供した時間区分数（回）				160	132	335	350	400
指標										
他市との比較検証		類似の施設がなく、比較が難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	5,357	5,551	合計 5,356,974 円			
	財源	特定財源	0	0	323	144	需用費 598,064 円			
		一般財源	0	0	5,034	5,407	役務費 45,208 円			
	職員人件費 ②		0	0	2,455	2,481	委託料 4,682,040 円			
	総事業費（①+②）		0	0	7,812	8,032	使用料及び賃借料 23,662 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称		負担金、補助及び交付金 8,000 円			
		5年度までの累積事業費		0	十朋亭使用料					
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			施設改修事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	9							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり						
	目的	十朋亭の施設改修を行うことで、貸館としての機能を維持するとともに、利用者に快適な施設環境を提供する。				主たる内容	○排水管改修工事		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市十朋亭条例、刈谷市十朋亭条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和5年度～令和5年度		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
					・ 排水管改修工事				
	成果		改修工事施行により、施設の機能を維持することができた。						
	課題								
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
	指標								
	指標								
	他市との比較検証		類似の施設がなく、比較が難しい。						
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
事業費 ①		0	0	1,287	0	合計	1,287,000 円		
財源		特定財源	0	0	0	0	工事請負費	1,287,000 円	
		一般財源	0	0	1,287	0			
職員人件費 ②		0	0	184	0				
総事業費（①＋②）		0	0	1,471	0				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0					
		7年度以降の事業費見込		0					